

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[NextPort のハードウェア コンポーネント](#)

[i960 バージョン番号](#)

[アップグレード i960 コード](#)

[CSMV/6 バージョン番号](#)

[CSMV/6 \(別名 SPE \) コードをアップグレードして下さい](#)

[関連情報](#)

概要

NextPort を使用するときプラットフォームを、頻繁にルータで実行する Nextport コードのバージョンを判別する必要があります基づかせていました。ただし、方法が原因でコードはフォーマットされ、指名されて、これは頻繁にしにくいです。この資料は NextPort プラットフォームのコードのバージョンを判別するのを助けるいくつかのガイドラインを提供したものです。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアのバージョンに基づくものです。

- NextPort Dial Feature Cards (DFC)
- AS5350、AS5400、AS5800 および AS5850 のような NextPort 可能なプラットフォーム

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

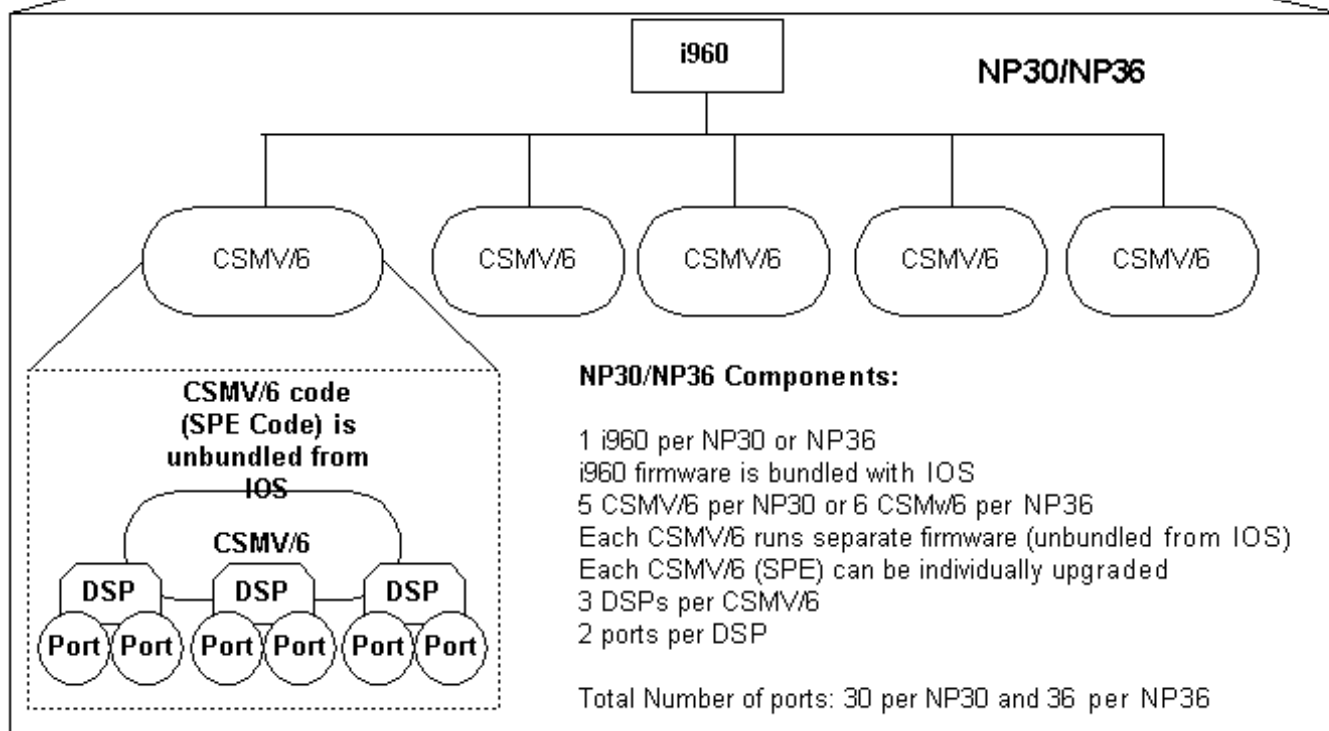
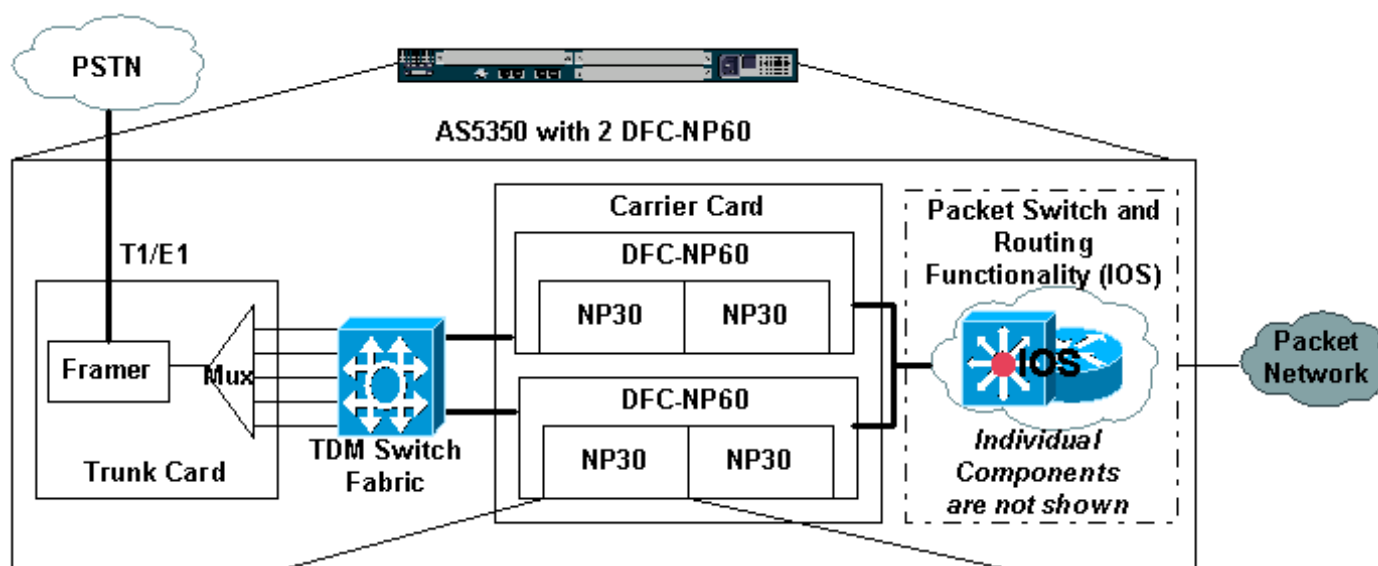
[NextPort のハードウェア コンポーネント](#)

Nextportモデム サブシステムは NP30s または NP36s の数として実装されます。たとえば DFC-NP60 に 2 NP30s(2x30=60) があるが、DFC-NP108 に 3 NP36s (3x36=108) があります。324UPC に組み込まれる 9 NP36s があります。

これらのモデム サブシステムのそれぞれは (NP30s か NP36s) 5 つか 6 つの CSMV/6 コアと 1 i960 プロセッサが含まれています。i960 は Cisco IOS® および CSMV/6s 間の通信路を処理します。

(AT インターフェイスおよび EC/DC 層を処理する) 各 CSMV/6 は 1 ARM Control Processor、およびそれぞれが 2 つのポートのためのモデム変調か音声コーデイングを処理する 3 DSP の (6 ポート セントラルサイト モデム (csm) デバイス) 含んでいます。

一例として、60 ポート DFC-NP60 カードはそれぞれにそれぞれが 6 つのポートを処理する、5 CSMV/6s がある 2 NP30s が含まれています。各 NP30 にそれで CSMV/6 コードの実行の i960 コードおよび 5 つの例の 1 つの例があります。



i960 バージョン番号

i960 コードは (時々 NextPort イメージと言われる) その形式のファイルで Cisco 呼び出し 「 np.ios 」 含まれています。このコードは Cisco IOS イメージにない利用可能ではない個々に価格をつけられて、組み込まれてだけでありではない。

np.ios は CSMV/6 コードと i960 コードが、含まれています。"2.3.5.108" のように np.ios バージョン見え; np.ios バージョン番号 w.x.y.z はこれらのメンバーが含まれています:

	フェーズ (主要な 機能バージョン)	ブランチ (マイナー な機能バージョン)	i960 バージョン (w.x なら is is より少し より 2.2) 有 意義ではない	CSMV/6 マイナー バージョン 番号
	w	x	y	z
例	2	3	5	108

shownextport mm との np.ios バージョンを表示できます。次に、例を示します。

```
esc-5400#show nextport mmIOS bundled NextPort image version: 2.3.5.108!--- The i960 code version is 2.3.5.108.NP Module(0 ): state = MODULE NOT INSERTEDNP Module(1 ): state = MODULE NOT INSERTEDNP Module(2 ): state = MODULE NOT INSERTEDNP Module(3 ): slot=1, dfc=0, module=0 state = MODULE RUNNING crash=0, bad=0, restarts=0, num SPEs=6 SecondaryQ hits=0, current held=0NP Module(4 ): slot=1, dfc=0, module=1 state = MODULE RUNNING crash=0, bad=0, restarts=0, num SPEs=6 SecondaryQ hits=0, current held=0NP Module(5 ): slot=1, dfc=0, module=2 state = MODULE RUNNING crash=0, bad=0, restarts=0, num SPEs=6 SecondaryQ hits=0, current held=0.....!--- Output omitted....NP Module(21): state = MODULE NOT INSERTEDNP Module(22): state = MODULE NOT INSERTEDNP Module(23): state = MODULE NOT INSERTED
```

アップグレード i960 コード

i960 コードを (たとえば、不具合が原因で) アップグレードする必要があるプラットフォームの Cisco IOS をアップグレードして下さい。i960 をリロードしてルータのリロードなしでサポートされませんコードして下さい。

CSMV/6 バージョン番号

np.ios ファイルに組み込まれる CSMV/6 コード、別名「SPE コード」は、利用できます (Cisco IOS イメージにそれ故に組み込まれて)。しかし i960 コードとは違って/np.ios、それはまた利用可能な個々に価格をつけられて、SPE (CSMV/6) 基礎ごとの a で別々にロードすることができます。"7.11" か "6.103.11" のように CSMV/6 バージョン番号見え。CSMV/6 バージョン番号 a.b [c] 「s 「b」メンバーは i960 np.ios w.x.y.z 「z」メンバーにマッピングされます。たとえば、np.ios 2.3.5. 108 は SPE バージョン 6. 108 が含まれています。

SPE バージョンがとの spe バージョンを示すのを表示できます; 実際の CSMV/6 バージョン番号 a.b [c] 0.a.b.c として showspe バージョン 出力にマッピングされます。

この表は CSMV/6 バージョンと show spe version output 間のマッピングのいくつかの例を示したものです:

CSMV/6 バージョン	show spe version output
--------------	-------------------------

7.15	0.7.15.0
6.103.11	0.6.103.11
6.108	0.6.108.0

次の show spe version output は SPE バージョン 6.108 および 7.15 との AS5400 を示します。

```

esc-5400#show spe versionIOS-Bundled Default Firmware-Filename      Version      Firmware-
Type=====
=====system:/ucode/np_spe_firmware1          0.6.108.0    SPE firmware!--- The SPE
version bundled with IOS is 6.108. !--- Remember that this matches with the i960 value
2.3.5.108. On-Flash Firmware-Filename      Version      Firmware-
Type=====
=====bootflash:np.7.15.spe
0.7.15.0    SPE firmware!--- Another spe file (version 7.15) has been loaded in bootflash:
SPE-# Type Port-Range Version UPG Firmware-Filename 1/00 CSMV6 0000-0005 0.7.15.0    N/A
bootflash:np.7.15.spe !--- SPE 1/00 uses the SPE code in bootflash (Version 7.15). !--- Use the
firmware location command to accomplish this. 1/01 CSMV6 0006-0011 0.6.108.0    N/A
ios-bundled default !--- All the other SPEs use the SPE code (6.108) bundled with IOS. 1/02
CSMV6 0012-0017 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/03 CSMV6 0018-0023 0.6.108.0 N/A ios-bundled
default 1/04 CSMV6 0024-0029 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/05 CSMV6 0030-0035 0.6.108.0
N/A ios-bundled default 1/06 CSMV6 0036-0041 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 1/07 CSMV6 0042-
0047 0.6.108.0 N/A ios-bundled default ... !--- Output omitted. ... 6/15 CSMV6 0090-0095
0.6.108.0 N/A ios-bundled default 6/16 CSMV6 0096-0101 0.6.108.0 N/A ios-bundled default 6/17
CSMV6 0102-0107 0.6.108.0 N/A ios-bundled default

```

[CSMV/6 \(別名 SPE\) コードをアップグレードして下さい](#)

CSMV/6 コード (SPE コード) は Cisco IOS バンドル SPE バージョンとは関係なく SPEごとの基礎で自由に、ロードすることができます。つまり SPE コードはルータのリロードなしでアップグレードすることができます。アップグレード手順に関しては、[Cisco デジタルモデム内蔵ルータにおけるファームウェア/ポートウェアのアップグレード](#) 資料を参照して下さい。

関連情報

- [Cisco デジタルモデム内蔵ルータにおけるファームウェア/ポートウェアのアップグレード](#)
- [シスコアクセス サーバ内部のデジタル モデムおよびアナログ モデム向けの推奨 modemcap](#)
- [Universal Port Card の管理し、トラブルシューティング](#)
- [NextPort ファームウェア](#)
- [Cisco テクノロジに関するサポート ページ - ダイアル](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)